

ほろや 東京都立保谷

高等学校同窓会会報

第1号

平成23年9月

発行/
東京都立保谷高等学校同窓会
〒202-0005
東京都西東京市住吉町5-8-23
http://www6.ocn.ne.jp/~hoya/
編集・印刷/
株同窓会事務局
〒121-0831
足立区舎人3-11-26EPS
03-5839-3456代

同窓会会長挨拶



保谷高等学校同窓会
会長 大場 聡史

祝40周年記念

皆さん、こんにちは。都立保谷高等学校設立40周年、おめでとございます。29期卒業生、大場聡史と申します。私が卒業してから早8年が経過しようとしておりますが、思えば母校が30周年を迎えた時、まだ私は高校2年生でした。今や社会人として、社会の荒波に揉まれ、もがき苦しみがら一日一日を生きております。不況の経済は無風状態のまま膠着し、浮上する気配が感じられる風をじつと待つ状態が続いています。

そんな中で私たちが希望を失わず、幸せな家庭や、いつかは自分のやりたいことを、と将来に夢を抱きながら生きていくことが出来るのは、未だに心の奥底に留めてある、毎日が楽しく、明るさと希望に満ちていた思い出の宝箱があるからです。

テスト前の勉強は大変だったけど、テスト後にクラスのみんなで点数を探り合うのが妙に楽しかった日々。先生も巻き込んで、泣き、笑い、悩み、肩を組んで涙した部活での毎日。恋に破れ、慰め合っていくうちに新たな恋に目覚めた青春のあの時代。それぞれのあの3年間が、母校を卒業した仲間の胸の中に、大切にしまっておくべきです。今現役生である皆さんも、卒業生の皆さんも、進学して、或いは社会に出て、辛いなあ、苦しいなあと思つた時に、ふと旧友の顔が浮かぶことは決して少なくないはず。それだけのたくさんの大事なものを出を、母校は授けてくれています。

保谷高校にとって、40周年は大変大きな節目となります。今年にかけての学び舎が全面改修され、生まれ変わる為の準備に入ります。また今年保谷高校が40周年を迎えるにあたり、昨年のうちに全卒業生の組織である同窓会を再編し、同窓会たる事業を再開せようと再スタートを切りました。西東京市も10周年を迎え、30周年の際とは周囲の環境も様々な部分で変化が生まれています。40周年という節目を私たちの胸にもひとつ刻み込み、母校の偉大な歴史として記憶に永く残っていくことでしょうか。

そして今年には未曾有の大災害が日本を襲いました。大津波や電力不足がたたみかけ、我々の生活や将来が根底から

崩壊していくような、まさに国難と言つて余りある、文字通り足下を揺るがす大地震です。傷跡はなお深く、癒えるには相当の年月がかかりますが、一方、震災直後の日本人の行動は、諸外国から称賛を浴びました。謙譲の精神と日本人の誇る高い技術力は、歴史的経験から日本人の奥深くに根付いていたのです。

関東大震災、第二次世界大戦での敗戦、阪神淡路大震災、それぞれの大きな国難で、日本は立ち直り、復旧ならぬ復興を遂げてきました。関東大震災の際に復興の指揮を執つた後藤新平氏によれば、復興は元のもの以上のものを形作る、ということだそう。事実、現在の東京の街並みは関東大震災後の街づくりの際に形成されたもので、自動車もまだ広く普及していない時代に地下道が作られ、今の東京の基礎がその時に出来上がりました。また世界大戦後、戦争で著しく疲弊し、将来への心配で憔悴しきつていたはずの日本はその後10年を待たずに高度経済成長を迎え、アジア史上初の万博である大阪万博で記録的な大成功を収め、GNP世界第二位に上り詰め、見事なまでの復興を遂げて、世界から「東洋の奇跡」と呼ばれました。もちろん言葉の解釈は人それぞれですが、「復興」は、日本人の底力です。まだ右往左往していたとしても、きっと日本はまた必ず復興します。

保谷高校が40周年を迎えた今年、奇しくも日本が節目を迎えています。今後、大なり小なり、各方面で日本が復興していく礎になる人材が、母校出身者から生まれていくことを願つてやみません。保谷高校生の底力は、二度目の奇跡のきっかけになれると信じています。

私たちは、保谷高校の一員であったことを誇りに、また辛い時には支えに、そしてこれからの希望にして、前を向いていきたいと思います。この宝箱を胸に持っている、かつて保谷高校で学んだ仲間として。設立40周年は、私たちがそれを確認する、良い機会です。

最後に保谷高等学校設立40周年、前途洋々の輝かしい船出になることを、お祈り申し上げ、私からの挨拶とさせていただきます。

| | |
|----------|----------|
| ■同窓会会長挨拶 | 1ページ |
| ■学校長挨拶 | 2ページ |
| ■部活動紹介 | 3ページ |
| ■同窓会役員会 | 4・5ページ |
| ■OB・OG会 | 5・6・7ページ |
| ■編集後記 | 8ページ |



校長 高橋 豊

同窓会の皆さまへ

同窓会の皆さまには、日頃より本校の教育活動にご理解、ご支援をいただき誠にありがとうございます。本校の第12代校長として、昨年の4月1日に着任いたしました。これまでの保谷高校の伝統を守りながら、保谷高校のために全力を尽くしますので、どうぞよろしくお願いたします。

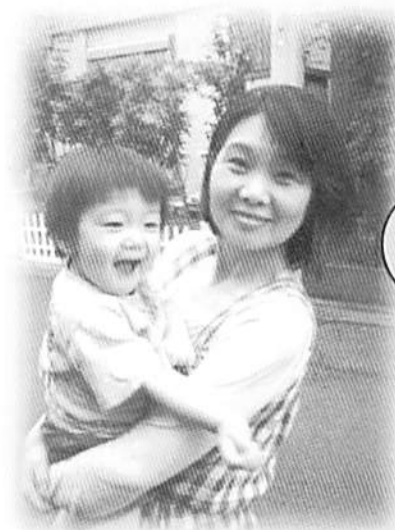
本校は昭和46年に初の入学生を受け入れて以来、「知性高く、人間味豊かに、心身ともに健康な人を育成する」を教育目標に、地域に愛される進学校を目指し、この間1万4千名を超える卒業生を輩出して参りました。今年度は908名の生徒が在籍し、その多くが大学等の上級学校への進学を希望するとともに、部活動に約9割の生徒が加入し、学習活動にも部活動にも熱心に取り組んでいます。地域の皆さまからは、挨拶をよくする、明るく穏やかな生徒が多い、部活動によく励んでいますね、な

どの声を頂いています。本校はこれまでの教育活動の成果が評価され、都の重点支援校に指定され、今年度はその3年目を迎えています。今後も、全教職員でのきめ細かな生活指導を基盤に、生徒の学力をより一層向上させるとともに、行事や部活動指導をさらに充実させ、卒業時の希望進路実現を目指していく所存です。なお、生徒の学校生活の様子は本校のホームページ・校長のブログで紹介しておりますので、こちらをご覧いただけると幸いです。

本校は今年度、創立40周年を迎えることとなります。この秋には、保谷高校の発展を地域にアピールする機会として周年行事を計画しています。本校の特徴的な取り組みや日頃の生徒の活動が見えるような行事にしたいと考えています。また、来年度から大規模改修を計画しており、保谷高校が更に発展していく節目の年でもあります。大場会長をはじめ同窓会の皆さまには、これからもご支援、ご協力を頂きたくお願い申し上げます。



なつかしの先生



岩田 優子 先生

保谷高校には1994年から10年間勤務しました。教員も生徒もユニークで元気な人が多い学校でした。

初めての文化祭で3年生の劇を観た時の衝撃は今でも忘れられません。「ウエストサイド物語」「サラフィナ」「学校」・・・

いずれも若々しい情熱と繊細な感受性が感じられる見事な舞台でした。その後も、「君となら」「巖流島」「ラジオの時間」など、毎年のように素晴らしい芝居を見続けることができました。中途半端なところで妥協せず、最高の作品を創るという姿勢は、保谷の文化を支える貴重な伝統の一つだと思います。

私が担任した生徒達も、作品を創り上げるために、本気で喧嘩したり、悔し泣きしたり、苦しんだり、歓喜の涙を流したりと激しい喜怒哀楽の情を見せてくれました。今考えると、あれは奇跡ですね。どうしてあそこまで無防備になれるのか？素直になれるのか？

それが保谷高校の持つ魔法の力なのでしょう。それぞれの内面に閉ざされた形で存在するエネルギーを解放し、噴出させる力。保谷を出て8年目の今、あの奇跡のような熱い日々を慈しみをこめて、懐かしく思い出しています。現在は日野台高校で2年生の担任をしています。(まだ現役で奮闘中!)もうじき2歳になる孫と遊ぶのがなによりのお楽しみのおばあちゃんです。

保谷高校の近況報告

6期生（現保谷高校教員） 宇佐美俊哉

今年の4月より、母校で教鞭をとることになりました。指導科目は数学です。平澤先生（2期生）に代わり、同窓会の担当教員になりました。保谷高校への同窓会に関する問い合わせは、こちらで承りますのでよろしくお願ひいたします。

開校当初は、ひと学年10クラスの大規模校でしたが、現在はひと学年7クラス規模（第2・3学年は、東京都の指定により臨時増設で8クラス）です。学校の規模は縮小しましたが、以前と変わらず、部活動が盛んな活気あふれる学校です。また、1998（平成10）年度より校服も変わり、ヒロミチナカノのブランドで有名な、中野弘道氏がデザインしたのになりました。

部活動の活動内容・活動報告

平成23年度

ソフトボール部
関東大会都予選 ベスト16
インターハイ都予選 ベスト16
今後の予定 8/3・4 公立選手権大会（会場 保谷高校）

女子バスケットボール部
関東大会予選 ベスト32
インターハイ予選 ベスト1632（優秀校）

男子バスケットボール部
春季大会兼関東大会都予選3回戦
東京都選手権兼全国総都予選3回戦

女子バレーボール部
春季リーグ戦5戦全勝優勝

春季一部兼関東大会都予選ベスト16決定戦にて、東京第3位の文京学院大に善戦するも0-2負け。東京都ベスト32をキープ。インターハイ予選東京都予選、2日目進出ベスト16決定戦にて、対日野高校から1セット先取るもフルセットの末に惜敗。東京都ベスト32。

男子硬式テニス部
第51回東京都高等学校テニス選手権大会（個人）シングルス5回戦進出

第51回東京都高等学校テニス選手権大会（団体）シングルス5回戦進出 4回戦進出

女子硬式テニス部
第51回東京都高等学校テニス選手権大会
シングルス4回戦進出（2名）
ダブルス 4回戦進出（1ペア）
同 団体戦1回戦 対お茶大附2-1 保谷
バドミントン部
インターハイ予選・団体
（3回戦進出・男子）

剣道部
全国高等学校剣道大会男子
団体 都大会出場

野球部
春季東京都高等学校野球大会
出場（4月4日）神宮第二球場
（対二松学舎大付 1-2）
1回戦 惜敗

吹奏楽部
（6月現在）
第30回定期演奏会開催、東京都高等学校吹奏楽コンクール・A組参加予定、西東京市民音楽祭、高文連東京都中央音楽大会 等に参加予定

柔道部
高校総体3支部予選個人戦、60kg・73kg級1回戦敗退、66kg級2回戦敗退、平成22年度3年ぶりに1年生が1名公式戦に参加しました。1勝は遠かったです。23年度1勝することができました。

演劇部
多摩北地区春のフェスティバル優秀賞地区大会など、校外5公演・校内4公演実施予定

科学部
文化祭参加のみ

執筆部
部誌の年6回発行、文化祭における作品展示

茶道部
夏休み3日間の通い合宿。文化祭でのお茶会。

陸上同好会
週4日練習（学校内、市民競技場など）、市民大会などへの参加

ワンダーフォーゲル同好会
5月 御岳山（奥多摩）山行

吹奏楽部
第29回定期演奏会開催、東京都高等学校吹奏楽コンクール・A組、西東京市民音楽祭、高文連東京都中央音楽大会 等に参加

演劇部
多摩北地区春のフェスティバル優秀賞 地区大会奨励賞受賞他、校外5公演・校内4公演実施

柔道部
高校総体3支部予選 個人戦73kg級1回戦敗退
第3支部新大会 個人戦73kg級1回戦敗退
新人柔道大会支都予選個人戦73kg級1回戦敗退

茶道部
夏休み3日間の通い合宿。文化祭でのお茶会。

現代音楽部
東京都高等学校文化祭軽音楽部門大会出場
合同ライブ「桜町高等学校、調布北高等学校、日本大学第一高等学校など」に参加

科学部
野外観察と文化祭参加

執筆部
部誌の年6回発行、文化祭における作品展示

ワンダーフォーゲル同好会
6月 伊豆ヶ岳（奥武蔵）山行
11月 御前山（奥多摩）山行

美術部
東京都高等学校文化祭・美術工芸部門中央大会「中央展」、多摩地区都立高校合同展覧会「創源展」出品

男子バスケットボール部
春季大会兼関東大会都予選
東京都選手権兼全国総都予選

女子硬式テニス部
第49回東京都高等学校新人テニス選手権大会
シングルス1名 5回戦（予選決勝）進出
ダブルス 1ペア 4回戦進出

ハンドボール部
女子 新人戦（都ベスト8）、
男子 新人戦（都ベスト32）

剣道部
夏季錬成大会女子個人戦無段の部 優勝
8支部大会男子個人 1年生の部 3位
新人剣道大会男子団体 都大会出場
昇段審査 参段2名、初段3名、1級2名合格

バドミントン部
新人戦1部大会・個人（4回戦進出・男子）
9 学区大会・団体（準優勝・男子）

ダンス部
新人生歓迎会
F.I.N.A.L.（3年生引退公演）
保谷菴夏祭り「サマーフェスティバルinこいだら
Dance Festival in Tama（東久留米市子どもセ
ンター）びり主権」
文化祭
練馬区春日町青少年館まつり Culture（校内発表）
パフォーミングズ翔！笑！SHOW!!
多摩六都ヤング・ダンスフェスティバル

同窓会ページ
同窓会役員会

保谷高校卒業生の皆様、こんにちは。29期卒業生、大場聡史と申します。

今年、保谷高校は40周年を迎えます。また校舎の大改修が間もなく始まり、色々な意味で節目を迎えます。それに伴い、同窓会組織を一新し、同窓会が行う事業を改めて見直し、具体的な活動を行う一環として、記念すべき会報誌第一号が発行されました。卒業生の皆様が、誇り高き保谷高校の一員であることを思い出すひとつのきっかけになればと思います。まだまだ生まれたい役員会及び会報誌ですので、発行頻度含め不安定ではありますが、これからどうぞよろしくお願いいたします。

さて、まず少し自己紹介に絡めて、今の同窓会についてご説明したいと思います。これまでの「同窓会」という組織は、全卒業生1万3千余名の会員を、実質たった

2名の役員によって支えているという状況でした。危機感を抱いた協力者である2期生の方と、当時の会長であった6期生の大村前会長とで相談し、40周年をしっかりと迎えるために、同窓会の組織を再編し、恒久的な運営ができる執行部を作ってほしいということで、昨年時点で現役生と繋がりを持ち、学校の現状もある程度把握できる卒業生に声をかけ、新たな運営組織が出来上がりました。それが、今の同窓会役員会です。

今の同窓会役員会になってから、会則の変更、ホームページの整備、事業の見直し、会報誌制作、経理の改革など、現状に合わせた、また恒久的な運用を想定した様々な刷新を試みておりますが、まだまだ生まれたいばかりの役員会です。道のりは長く険しいと覚悟しております。

しかし、新執行部（現役員会）は、前役員として同窓会を支えて下さっていた方々にもご協力頂き、年度ごとに決算を行い、きつちりと予算立てを実施し、卒業時に皆様からお預かりした会費を計画的に運用していくための心強い役員が揃っています。卒業生として各方面でご活躍されている皆様、現役高校生とまだまだ力強く関わり

を持っていらつしやる皆様とも連携を取りながら、多くの困難を乗り越え、同窓会としての事業を恒久的に継続すべく、更に体制を整えて参ります。母校の皆様、卒業生の皆様、これからもご協力を、よろしくお願いいたします。

次項に、同窓会の活動概要をご紹介します。

■平成23年度同窓会役員

平成23年5月1日に施行された新会則（ホームページに記載）によって、役員会の体制が変更され、現在左記の役員によって同窓会役員会が構成されています。

| | |
|------|-----------------------------------|
| 会長 | 大場 聡 史 (29期) |
| 副会長 | 宇佐美 俊 哉 (6期) 大村 千 春 (6期・前役員) |
| 書記 | 平 澤 俊 章 (2期・前役員) 三 浦 貴 敏 (27期) |
| 会計 | 保 谷 麻 貴 (31期) 茂 泉 亜 衣 (31期) |
| 会計監査 | 孔 一 (19期) |

現在、不定期ではありますが上記役員会を招集し、同窓会事業の整備を行っております。毎回の議事の内容について、ホームページにて公開しておりますので、新会則含めどうぞご覧ください。同窓会ホームページへは、学校公式ホームページにリンクがあります。
<http://www6.ocn.ne.jp/~hoyya/>

■事業内容

同窓会の目的は、会則第3条に「(1)会員の相互の親睦をはかること、(2)会員の知徳を高め社会奉仕の実を挙げること、(3)母校の隆盛をはかること」とあり、また事業内容としては会則第4条に「(1)会員名簿の管理、(2)会報誌の発行、(3)会員と、母校及びそれに付随する情報の共有、(4)その他の目的を達成する為の事業」とあります。

同窓会の活動の根幹として、まずは会員の皆様、母校や青春時代、旧友を懐かしみ、同窓会を開きたいと思つた時に、第一の相談窓口として使つて頂く為に、卒業生の名簿の管理を行っております。また今年度から、発行ペースは未定ですが会員全員に会報誌を発行することも検討し、着々と進んでおります。母校の部活やOB団体

の活動（会員活動）への支援も、数年前より続く事業として継続しております。資金面とのバランスを見ながら、将来的には総会を定期的に行えるようにするなど、活動の幅を拡張していく所存です。

■平成22年度決算

最後に、昨年度の決算を役員会で実施致しましたのでご報告致します。会報誌にも記載予定です。今年度は会報誌発行や40周年記念事業などで多くの出費が見込まれており、単年度では大幅な赤字の予算になることが予想されておりますが、収支のバランスも今後重要な検討課題として議論していく予定です。進捗に関してはホームページでの議事録をご覧ください。

さて、堅苦しいお話はここまでとして、次項より、卒業生の会員活動（OB団体）について、ご紹介致します。これからも、母校の隆盛と会員の活躍を、同窓会が支援して行きます!!



平成22年度
同窓会会計報告

2010. 4. 1～2011. 3. 31

■単年度収支及び通帳残高

| | |
|--------|-------------|
| 前期繰越残高 | ¥11,179,387 |
| 当期収入小計 | ¥823,847 |
| 当期支出小計 | ¥507,455 |
| 当期差引収支 | ¥316,392 |
| 通帳残高 | ¥11,495,779 |

(2011/4/15時点)

■収入の部

| 項目名 | 金額 | 備考 |
|----------|-------------|----|
| 雑収入 | ¥2,678 | 利息 |
| 37期卒業生会費 | ¥821,160 | |
| 小計 | ¥823,847 | |
| 前期繰越 | ¥11,179,387 | |
| 合計 | ¥12,003,234 | |

■支出の部

| 項目名 | 金額 | 備考 |
|---------------------|-------------|----------------------|
| プロバイダ保守料 | ¥6,300 | O C N (月額525円×12ヶ月分) |
| 野球部OB会 支援金 | ¥100,840 | マスターズ甲子園 出場費 |
| 保谷高校OB吹奏楽団(HOB) 支援金 | ¥400,000 | 10周年記念コンサート諸費用 |
| 手数料 | ¥315 | 支援金振込時手数料 |
| 小計 | ¥507,455 | |
| 次期繰越 | ¥11,495,779 | |
| 合計 | ¥12,003,234 | |

保谷高等学校 OB・OG会

野球部OB会

現在、保谷高校野球部OB会では、東京都高校野球OB連盟に加盟し、活動を行っております。

マスターズ甲子園とは、全国の高校野球OB/OGが性別、世代、甲子園出場・非出場、元プロ・アマチュア等のキャリアの壁を超えて出身高別に同窓会チームを結成し、全員共通の憧れであり野球の原点でもあった「甲子園球場」で白球を追いかける夢の舞台を目指そうとするもの（マスターズ甲子園ガイドブックより）

<http://www.masterskoshien.com/index2.html>

この理念に沿って、各都道府県の代表が、1年に一回「甲子園球場」で野球を行う大会です。

東京都高校野球OB連盟には、旧制中学時代より伝統のある『日比谷高校、立川高校』を筆頭に『新宿高校、小平高校、武蔵高校、豊多摩高校』そして我が校と同時期に創立した『狛江高校』我が校よりあとに創立した『府中西高校』等の都立勢と夏の高校野球東京大会では、ベスト4常連の強豪『安田学園高校』まだ、創立して浅い『明大中野八王子高校』の私立勢の甲子園出場経験のない学校が加盟しています。

まさに、現役時代に果たせなかった夢を実現できる絶好の機会として、来年（2012年マスターズ甲子園）の出場に向け、東京代表決定を行う東京大会を行っており、各校の熱戦が繰り広げられています。

なお、昨年（2010年マスターズ甲子園）は、『新宿高校』が東京代表として出場しており、今年（2011年マスターズ甲子園）は、12月に『安田学園高校』が東京代表として出場予定です。

もちろん、各校、現役世代の共通の憧れである甲子園出場への応援と野球部OBの相互間の交流も欠かすことのできない大切な活動となっています。

最後に、保谷高校野球部の創部は、軟式時代の昭和48年5月1日です。保谷高校創立の翌年ですので、39年の歴史と伝統があることに野球部OB全員が誇りに感じています。新聞等を拝読すると日本高等学校野球連盟に登録されている創部は、違っているようです。もし、機会がありましたら訂正いただければと思います。



保谷高校野球部 第2期 主将 中村 隆之

OB・OG会

バドミントン部OB・OG会



2010年度
集合写真



試合の合間に



コートに入ると本気です



夜の飲み会にもたくさんの方が参加。
遠方から駆けつけてくれた方もいました。



このたび同窓会報発行にあたり、バドミントン部OB・OG会に活動紹介の機会を与えていただきましたこと感謝致します。

保谷高校バドミントン部は伝統ある部活で、過去に都立高校初の関東大会出場の実績や、都内でベスト8の実績を何度も残しております。今まで顧問の先生方の熱意と生徒たちの頑張りによって、専門的な指導者を有する私立高校に対して健闘をかさねてきました。高校時代に活躍した選手たちは卒業後も部活に訪れ、後輩たちの指導にあたっております。

競技を継続する卒業生の中には、東京代表として全国の社会人大会やシニア大会で活躍する選手もいます。中には指導者として活躍している方、日本ランキング入りしている者、共同通信社で日本代表選手の活躍を第一線から報道している方など、多種多様な活躍ぶりです。一方、卒業後なかなか環境に恵まれず、バドミントンを継続する機会の少ない先輩方もたくさんいる現実もあります。なんとか機会をつくり、繋がりも取り戻したいという数名の卒業生の気持ちから、ここ数年、年に一度夏の時期にOB・OG会を開催しております。

会場は保谷高校体育館、現役生との交流試合や、団体戦や個人戦を一日かけて行います。ラケットショップに勤務する卒業生や、メーカー契約選手の卒業生が、シャトルや賞品などの面で協力し、物品提供をいただけるサプライヤーを呼び込んだり、非常に充実した会になっております。また、昨年は保谷高校バドミントン部オリジナルTシャツを作成、売上の一部から現役生へシャトルをプレゼントしました。

バドミントン後は田無駅近辺に場所を変え、歴代の顧問の先生方やOB・OGが集まり、昔話を花を咲かせます。

今後も、卒業生にとっては生涯スポーツとしてバドミントンを続けられるきっかけの場、現役生にとっては先輩方から技術を吸収したり、指導に来てくれるよう日頃の頑張りを見せる場、そんな環境を作っていけたらと考えております。年に一度、夏の締め切った体育館での運動は、運動不足の先輩方には、かなり身体に堪えるはず。一年を通して健康に対する意識を高めるための目標にして、アンチエイジングも普及させていきたいと思います。

諸連絡は昨年より専用のブログ

(<http://ameblo.jp/hoyabadmintonclub/>)を作成し、そこで開催の連絡や、当日の写真公開などをさせていただいています。現役生のブログも作成して、リンクを貼り、時間のある卒業生が練習に来やすいシステムも導入しました。

最後に、保谷高校バドミントン部という世代を越えた繋がりを、ずっとこの先も作り続けられるようにすることが大きな目標です。

記事：大河原正晴（24期卒業生）

さて、来る11月26日に行われる、保谷高校創立40周年記念式典において、わたしたち「保谷もつと歌い隊」に歌う機会を設けさせていただくと聞いて、OB一同大変喜び、かつ張り切っております。当日は精一杯がんばりますのでよろしくおねがいいたします。



田無市民会館にて



下の写真が2011年5月22日に行われた朝霞市音楽協会主催の歌の集いでの「保谷もつと歌い隊」が歌っている場面です。

保谷高等学校

演劇部OB会

H・R企画とは、保谷高校演劇部の26期～29期生あたりが、卒業してだいぶ経った2007年に「また芝居やろう！」と突然立ち上げた団体。公演を「公開同窓会」と位置づけ、やりたい時にやりたい人がマイペースに演劇をやっています。今までに4回の公演を行いました。現役当時の記憶を頼りに、スタッフワークもほぼ自分たちでまかなっています。公演を重ねるごとに懐かしい仲間が集まり、楽しくワイワイと活動しています。

H・R企画代表 鈴木 高征



吹奏楽部OB会



東京都立保谷高等学校同窓会員の皆様はじめまして、私は保谷高校OB吹奏楽団団長の27期卒業生の三浦貴敏です。

保谷高校OB吹奏楽団(通称HOB)は、2000年に、卒業しても音楽を続けたいという思いから26期卒業生を中心に設立され、私達も昨年設立10周年を迎える事が出来ました。設立当初は団員10名程から始まり、現在は約60名で活動しています。これまで年2回の定期公演、現役生の定期演奏会、西東京市民文化祭、近隣地域の小学校や福祉施設での演奏会など、幅広い活動を行っています。

全員が同じ保谷高校吹奏楽部で青春を過ごし、同じ体験をしてきた仲間である為、団員同士の差を越えてとてもアットホームな雰囲気、定期公演なども他の一般バンドとは一味違ったコンサートとなっています。ぜひ一度ホールまで足をお運び頂き、楽しい時間を一緒に出来ればと思います。

また、当団はホームページ (<http://hwm8.spaaqs.ne.jp/supersat/index.html>) を公開しており、私達の活動や雰囲気を感じて頂けると思いますので、そちらもご覧頂ければと思います。

10年をかけようやく吹奏楽団として自立した活動を続けられる様になってきましたが、ここに至るまで練習場所や楽器の借用など、どうしても自分たちの力だけでは及ばない多くの場面で母校である保谷高校、そして吹奏楽部の現役生には大変多くのご協力を頂きました。

また、昨年の10周年記念コンサートでは同窓会からもご支援頂き、550名を越えるお客様と共に盛大に行う事が出来ました。更に今年の夏には西東京市10周年記念事業の認定を受け、こもれびホールを満員にするまでに盛り上がり、もはや地域を代表する音楽団体に成長致しました。皆様からのご協力に深く感謝し、これからの活動の中で少しでもお返し出来るものがあればと思います。

これから50周年に向けて保谷高校の更なるご活躍を祈念し、私達も共に歩んで参りたいと思っております。
保谷高校OB吹奏楽団 団長 三浦貴敏(27期卒業生)

合唱団部OB会

皆様、始めまして。保谷高校7期OBの伊東と申します。7期と言うと昭和53年入学となりますので相当むかし？の話になりますね。私が高校生の時は音楽部合唱団に所属しておりました。音楽部合唱団は2期生の先輩方が、当時の音楽教諭だった伴博先生を顧問に迎え設立されたと聞いております。私が所属していた当時は部員が約80名という大所帯でした。練習もかなり厳しく、コンクールや定期演奏会に向けて、毎日毎日(テスト前以外)練習しておりました。夏休みは合宿も含め毎日のように練習がありましたし、冬休みも暮れと正月以外は毎日練習でした。クラスメートよりも部活の連中と顔を合わせていることが多かったと記憶しております。そういった私たちも、高校卒業後はほとんどが離れ離れになってしまい、かつ保谷高校にも音楽部合唱団がなくなってしまったこともあいまって、連絡も取れない状態となっておりました。しかしながら2008年ごろから、OB同士で何とか連絡を取り、第1回目の同窓会が行われました。そして2009年9月20日に、私たちが現役時代に定期演奏会を行った田無市民会館にて、大同窓会が行われました。

みんな、自分の年を忘れ、高校生に戻った気持ちになって気持ちよく歌いました。

当事、音楽部の顧問を勤められた伴博先生は現在朝霞市音楽協会の代表を勤められています。ふた月に1度朝霞市中央公民館で行われる、朝霞市音楽協会主催の歌の集いに、私たち保谷高校OB合唱団も時々参加させていただき手伝いさせていただいております。保谷高校OB合唱団の名称は「保谷もっとうた隊」と伴先生に付けていただきました。

同封物の見方

お近くの郵便局または、コンビニエンスストアをご利用下さい。

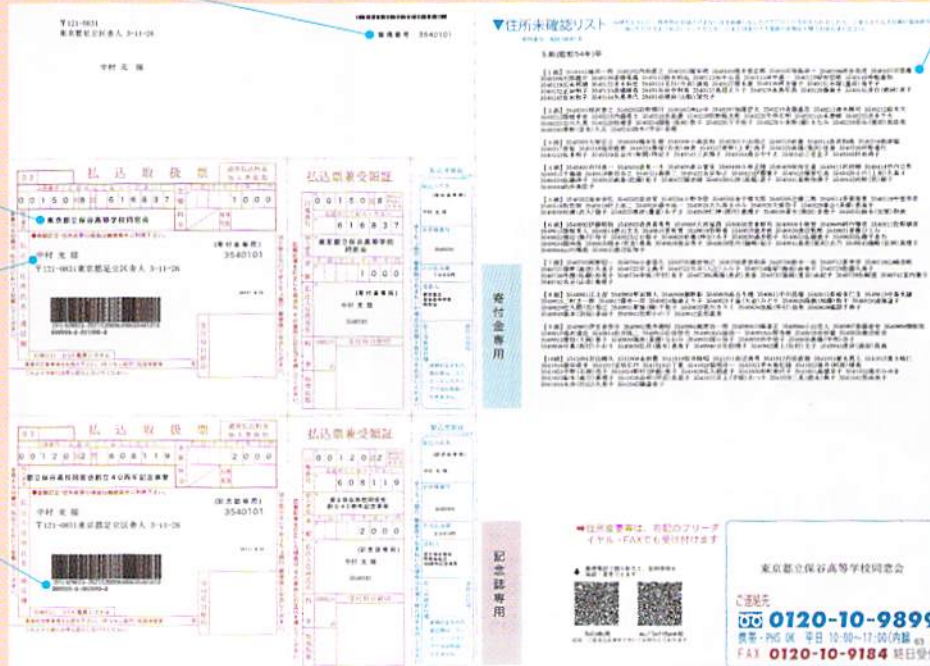
現在、住所が判らず会報誌をお届けできない方々です。ご存知の方は、情報をお寄せいただくか、フリーダイヤルまでご本人よりご連絡いただけるようお伝えください。また、ご提供いただきました情報の取り扱いについては細心の注意を払っておりますので、安心して情報をお寄せ下さい。

貴方の整理番号です

寄付金の振込用紙です。ご協力をお願いします。

現在、同窓会でお預かりしている貴方の情報です。

記念誌の振込用紙です。ご協力をお願いします。



同窓会事務局 ◇フリーダイヤル 0120-10-9899 (内線63) 平日10:00~17:00
◇フリーファックス 0120-10-9184 (終日受付)

☆初発行号という事で、慣れない記事収集や執筆に苦労しましたが、半年を経てやっと形になりました。ご協力頂いた皆様、ありがとうございました。
卒業生の皆様、母校の絆を思い出すきっかけになればと思います。次号も必ず発行致しますので、どうぞご意見・ご要望をお寄せ下さい。お待ちしております。

編集後記

寄付募集

今年度、保谷高校が40周年を迎えるに当たり、40周年記念誌を制作しております。2,000円にて同窓会より販売致しますので、ご希望の方は記念誌専用振込用紙にお間違いの無い様、ご注意下さい。
また記載額以上のご寄付を頂ける方は、誠にお手数ですが郵便局にて金額の修正をお願いいたします。
長期的に見て、活動資金が不足しています。これからの母校隆盛と同窓会活動の充実のために、皆様のご協力をお願い申し上げます。

次号について

保谷高校同窓会誌 第二号は、2年(可能であれば1年)後までに発行致します!!記事に取り上げて欲しい内容などありましたら、是非同窓会役員会まで御寄せ下さい。継続的に発行を続けていくためには、資金が必要で、皆様のご協力を、お待ちしております。

ご意見・ご要望は、こちらまで。

事務局住所 / 〒202-0005
東京都西東京市住吉町5-8-23
都立保谷高等学校内
電話番号 / 042-422-1322
FAX / 042-423-9631
同窓会事務局宛のメール /
hoya-dousokai@lute.ocn.ne.jp

※保谷高校は今年40周年を迎え、40周年記念式典が開催されますが、式典は会場の都合により生徒及び保護者に加え、少数の来賓と出演者、関係者のみで執り行われます。卒業生の皆様にもお出で頂きたい所ではありますが、何卒事情をご理解頂きます様、宜しく願います。

